



(C)ガンバ大阪



すいたの環境

— 吹田市環境白書 —

平成28年版（2016年版）

はじめに

平成27年（2015年）11月～12月にパリで開催された気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）において、2020年以降の新たな国際枠組みとして「パリ協定」が採択されました。このパリ協定は、先進国も途上国も含めて、すべての国が参加する仕組みが合意されており、世界的な温暖化対策を進めるうえで、大きな進展であったと言えます。

この合意に向けて、各国は事前に削減目標を国連気候変動枠組条約事務局に提出しており、我が国は、2030年度に2013年度比26.0%削減を表明しています。

また、本年5月には、削減目標の達成、パリ協定への着実な対応に向け、地球温暖化対策を総合的かつ計画的に推進するための計画である「地球温暖化対策計画」を閣議決定しました。

計画では、「経済の発展や質の高い国民生活の実現、地域の活性化を図りながら温室効果ガスの排出削減等を推進すべく、徹底した省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの最大限導入、技術開発の一層の加速化や社会実装、ライフスタイル・ワークスタイルの変革などの地球温暖化対策を大胆に実施する。」としています。

本市においては、市域のエネルギー消費量や温室効果ガス排出量が増加しています。これらの内訳を見ると、家庭部門と業務部門の合計が5割を超えている状況です。今後、家庭や事業活動において、さらに節エネルギー、省エネルギー、再生可能エネルギーの導入の取組みを進めていくことが必要です。

昨年度、これらの取組みを進めるため、策定後5年を経過した「地球温暖化対策新実行計画 すいたんのCO₂（こつこつ）大作戦」の改訂版を策定しました。本計画に基づき、地球温暖化防止に向けた取組みを着実に進めていくとともに、引き続き「第2次環境基本計画 改訂版」を着実に推進します。

本書は、本市が実施している環境施策の進捗状況と環境の状況についての報告書です。本書をとりまとめることで、環境基本計画に掲げた目標の到達度合いを確認し、施策の見直しや充実を図ります。あわせて、身近な環境に関心を持ち、自らのライフスタイルを環境の視点から見直すきっかけとなれば幸いです。

——環境白書の編集について——

この環境白書は、吹田市環境基本条例に基づいて毎年発行しているものです。

平成28年版（2016年版）は、データや集計結果については、平成27年度（2015年度）における実績をとりまとめました。それ以外の記述は、平成28年（2016年）10月初旬時点での状況です。

本書は、現在課題となっていることにスポットをあて、まとめています。詳細なデータは資料編にまとめ、吹田市ホームページに掲載しています。本書とあわせてご活用ください。

表紙：CASBEE（建築環境総合性能評価システム）の最高ランクSを取得した「エコ・スタジアム」である市立吹田サッカースタジアムの全景
裏表紙：（上段）同スタジアムに設置されている太陽光発電システム（504kW）
（下段）同スタジアムに設置されているLED照明（384台）の点灯状況（フィールド内照明のオールLED化を実現）

目次

第1章 吹田市の環境政策	1
第2章 目標達成への施策の展開	
第1節 エネルギー	3
限りあるエネルギーを大切に使う低炭素社会への転換	
第2節 資源循環	11
資源を大切にする社会システムの形成	
第3節 生活環境	15
健康で快適な暮らしを支える環境の保全	
第4節 みどり	25
みどりを保全・創出・活用し、市民に親しまれるまちの形成	
第5節 都市環境	29
快適な都市環境の創造	
第3章 重点プロジェクト	35
第4章 環境基本計画に基づく進行管理	37
資料編 環境まちづくりデータ	39
(資料編の内容は吹田市ホームページに掲載しています。)	
1 環境基本計画	
2 環境関連条例	
3 環境基本計画の進行管理	
4 環境関連資料	
5 吹田市まちづくり用語集	
6 環境年表	
7 環境記念日	